



はむらの コミュニティ・スクール

令和6年度から羽村市の全ての小・中学校が
「コミュニティ・スクール」となります。
「コミュニティ・スクール」とは、どのような学校なのか、紹介します。

コミュニティ・スクールって？



これからの時代を生き抜く力を子供たちに育むためには、学校だけでは得られない知識や経験、能力の育成が求められます。コミュニティ・スクールでは、保護者や地域の皆さんに学校の教育活動に関わっていただき、教育環境をより一層充実させます。また、将来地域を支える人材である子供たちの育成に地域が積極的に関わり、次の時代の地域を、地域が主体となって創生することを目指します。



家庭・地域・学校が一丸となり、協力し合い、役割分担をしながら、みんなで子供たちを育てていく学校、それが“コミュニティ・スクール”です。

これまでの学校と、何が違うの？

コミュニティ・スクールには、校長・保護者代表・地区代表などの地域の皆さん・学識経験者などによるコミュニティ・スクール委員会（学校運営協議会）が設置されます。コミュニティ・スクール委員会には、主に次の三つの役割があります。

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること。
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べること。
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べること。



コミュニティ・スクール委員会は、保護者や地域の皆さんが、より直接的・主体的に、学校の運営に関わる会となります。





「校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」って？

コミュニティ・スクール委員会では、校長が作成した「学校経営方針」を基に、どのような子供を育てていきたいのか、そのためにどのような教育活動を充実させていくか、といったことについて、委員会で協議・熟議（※）を行い、ビジョンを共有した上で、正式に方針として承認します。

このようなプロセスでコミュニティ・スクール委員会が学校運営の基本方針を承認することで、保護者や地域の皆さんの思いや願いを、学校の運営に反映させることができます。

（※）「熟慮」と「議論」によって問題の解決を目指す話し合いのこと。

「学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる」って？

コミュニティ・スクール委員会を中心に、子供たちの直面する課題について、家庭・地域・学校それぞれの立場から「何ができるのか」「どうすればよいのか」について話し合い、「こんな取組をしよう」「こういう教育を重視しよう」といった方針を共有します。

コミュニティ・スクール委員会は、「こんな取組をさせてほしい」「こういう予算をつけてほしい」といった意見を市教育委員会に提出することを通して、保護者や地域の皆さんの思いや願いを、学校運営の中で実現することができます。

「教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べる」って？

コミュニティ・スクールは、学校独自で教員の公募を行うことができます。特色ある学校づくりや学校の直面する課題を解決するために必要な人材について協議・熟議し、その結果を市教育委員会に提出します。市教育委員会は、提出された情報を基に教員の公募を行い、応募状況によっては選抜等を実施して、各学校に配置する教員を決定します。

それぞれのコミュニティ・スクールが効果的に公募を行うことで、保護者や地域の皆さんの思いや願いを共に実現する人材を、学校に配置することができます。



はむらの コミュニティ・スクール

大人がみんなで
子供たちを育てていく。
大人と子供たちが
一緒に成長していく。
それが「コミュニティ・
スクール」なんだリン♪



地域には、どのようなメリットがあるの？

●ボランティアで活躍、力を発揮

退職された方や日中に時間のある方などが、これまでの経験や資格などを生かし、ボランティアとして学校の教育活動に参加することで、新たなやりがいを見いだしたり、子供たちの成長の喜びを共有したりすることができます。

●子供たちが地域の活動に積極的に参加

子供たちと地域の皆さんとの交流が増えることで、子供たちの地域愛が深まり、地域の伝統行事やイベントなどに積極的に参加しようとする心を育むことができます。

また、地域清掃やバザーなど、大人と子供が一緒に地域のために取り組む活動の充実にもつながります。

保護者には、どのようなメリットがあるの？

●保護者の思いや願いを学校運営に反映

コミュニティ・スクール委員会は、学校運営について意見を述べるすることができます。保護者の思いや願い、その実現のための教育活動のあるべき姿などについて、コミュニティ・スクール委員会を通じて意見を述べ、学校運営に反映させていくことができます。

●学校行事の手伝いやPTA活動等の負担軽減

運動会の受付や誘導、PTAの広報活動やバザーなど、これまで保護者が行ってきた活動に、地域の皆さんにも加わっていただくことで、一人一人の負担が軽減され、「やれるときに、やれる人が、やれることをやる」形へと変えていくことができます。

学校には、どのようなメリットがあるの？

●地域人材を活用した授業

地域で働く方から、仕事のやりがいや働くことの意義、仕事と社会との関わりなどについてお話をしていただき、勤労観を育んだり、自己実現のビジョンをもったりするなど、より充実した授業を実施することができます。

●大人と子供が共に学ぶ学習活動・体験活動

道徳の授業に、保護者や地域の皆さんに参加していただき、子供たちと大人が対話を通じてそれぞれの考えを交流することで、互いに学びを深めたり、ものづくりや農業体験などに大人と子供が一緒に取り組み、より充実した体験活動にしたりすることができます。



地域と学校が パートナーに…

コミュニティ・スクールとして、地域と学校がパートナーになることで…

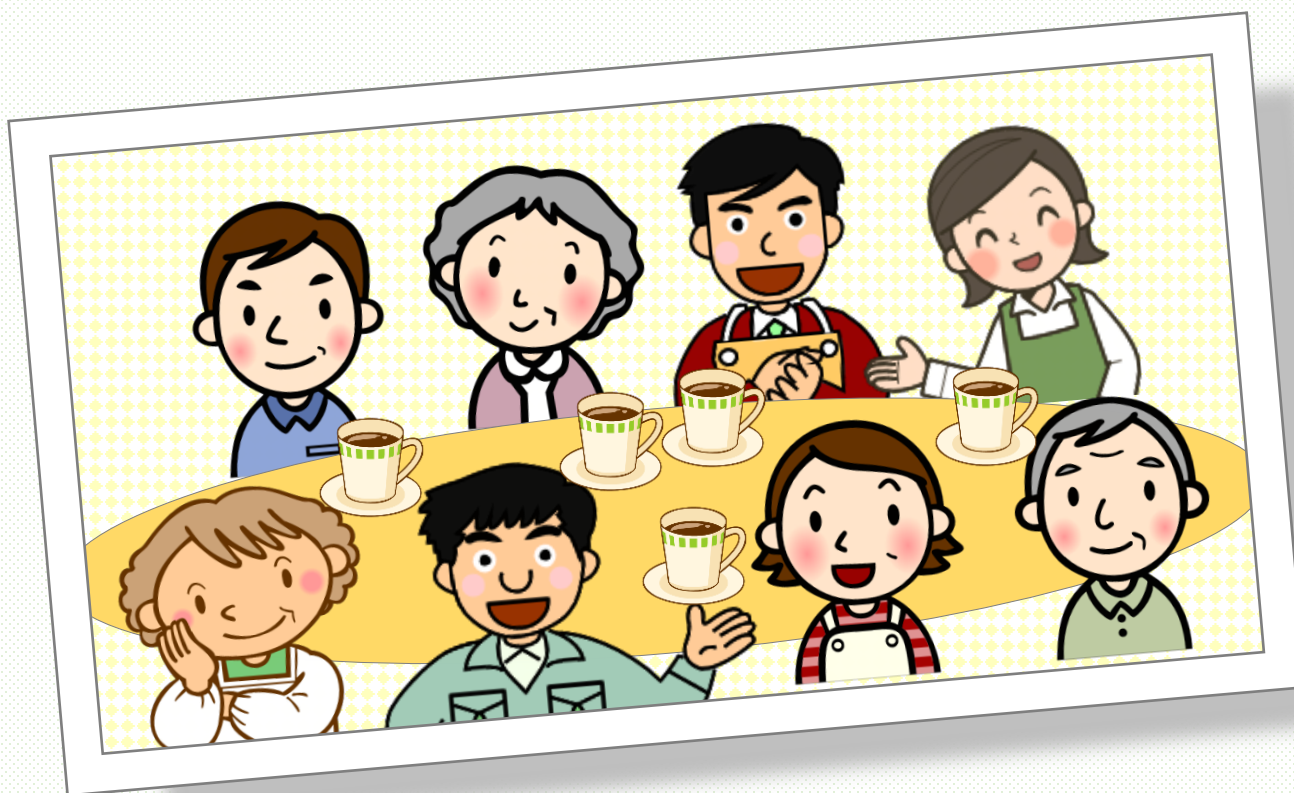
- ◆ 保護者や地域の皆さんも、積極的に子供たちの教育に関われるようになります。
- ◆ 保護者や地域の皆さんが学校運営や教育活動に参加することで、やりがい・生きがい生まれたり、子供たちの学びや体験が充実したりします。
- ◆ 保護者や地域の皆さんと学校が「顔が見える」関係になり、保護者や地域の皆さんの理解と協力を得た学校運営が可能となります。
- ◆ 学校と地域の協力体制が築かれることで、生活指導や防犯、防災の面でも、課題解決に向けた効果が期待できます。

コミュニティ・スクールを応援します！

羽村市では、各学校に「**地域学校協働本部**」を設置しています。

地域学校協働本部は、家庭・地域と学校のつなぎ役として、保護者や地域の皆さんが学校の活動に関わる際に、その活動をコーディネートします。

コミュニティ・スクールの応援団である地域学校協働本部を、よろしくお願いします。



はむらのコミュニティ・スクール 令和6年3月発行

羽村市教育委員会生涯学習部学校教育課

電話：042-555-1111（代表）

